

田舎だからできる挑戦を

森山 清史さん（下赤名）

飯南町下赤名で移動式トレーラーハウスを活用した理美容室を営む森山清史さん。

奥出雲町出身の森山さんは、高校卒業後に理美容の道へ進み、県の職業訓練校で学んだ後、神戸や島根県内の店舗で約16年間経験を積まれました。

当時、店長として働く中でやりがいを感じる一方、休日も少なく家族との時間を十分に取れない日々が続き、子どもの成長を見守りながら暮らしたいという思いもあり、5年前に家族で飯南町へ移住、独立を考えるようになりました。



森山清史さん

しかし、人口の少ない地域で新たに店舗を構えることへの不安もありました。そこで森山さんが選んだのが、全国的にも珍しいトレーラーハウス型の理美容室です。

田舎だからできないではなく、田舎だからできることがある

開業までの道のりは決して平坦ではありませんでした。県内でも前例がなく、保健所の施設基準など、多くの課題がありました。それでも「どうしてもやりたい」という思いで乗り越えてきました。特に天井高の基準を満たすために、トレーラーハウス全体を改造し、約30センチかさ上げする大掛かりな工事も

実施しました。

国道沿いにある銀色に輝く店舗は多くの人の目を引き、松江市や三次市方面から来店されるお客様もおられるそうです。散髪をきっかけに温泉や飲食店に立ち寄る人もおられ、新たな交流の入口にもなっています。

開業から1年半、地域の子どもたちとの関わりも大切にしています。卒業式前のヘアセットや職場体験の受け入れもその一つです。

理美容師ってかっこいいなと思ってくれる子が増えてうれしい

将来について尋ねると、森山さんはワクワクした様子でこう語られました。

「同業者には『そのスタイルをやりたい』という方もおられます。将来的には、こういう店舗を県内に増やしたり、独立したい人の後押しができたら面白いなと思っています。」

最後に、町への思いを聞きました。「やりたいことがあるのに、

くすぶっている人もいると思うんです。でも、今は補助制度もあるし、挑戦できる環境もあります。だからまずはやってみてほしい。そういう人が増えたら町の空気も変わると思うんです。」

「二人ひとりができることをやっていけば、きっと面白い町になると思います」

その言葉には、未来への確かな希望が込められていました。

店舗の移動式トレーラーハウス



今月の表紙写真



「一人ひとりができることをやっていけば、きっと面白い町になると思う」という言葉に、かのケネディ大統領の「何をしてもらうかではなく、自分が何をできるか」という名句を思い出しました。この町は、私たち一人ひとりの思いと動きがある限り、未来への希望もあると思います。

訃報

伊藤好晴議員が逝去

（5月27日逝去 74歳）

伊藤好晴議員は、飯南町議会議員として6期目を迎えられ、旧頓原町議会議員も含め、30年もの長きにわたる議員活動に精進され、議会運営委員長などを歴任し、町政の発展に大きな足跡を残されました。生前のご功績をたたえとともに、心から哀悼の意を表します。

議会広報常任委員会

委員長：安部 丘 副委員長：高橋 徹 委員：安部 誠也 景山 登美男 平石 玲児 岸 光研

飯南町議会事務局 島根県飯石郡飯南町下赤名880番地 TEL0854-76-2190 FAX0854-76-2867